

# 令和2年度 第12回魚沼地域親善陸上競技大会 開催要項

(公益財団法人新潟県スポーツ協会補助事業)

## 1. 目的

魚沼地域で成長する児童の基礎体力、走・跳・投の基本的運動技能の向上と親善交流を図るため、陸上競技大会を開催する。

## 2. 主催

魚沼地域体育協会協議会

## 3. 後援

小千谷市教育委員会、十日町市教育委員会、魚沼市教育委員会、南魚沼市教育委員会、湯沢町教育委員会、津南町教育委員会、中越地区陸上競技協会連絡協議会

## 4. 主管

十日町市陸上競技協会

## 5. 期日

令和2年9月13日(日) 雨天決行

## 6. 会場

十日町市中条乙2563 十日町市陸上競技場 (☎025-757-2090)

## 7. 競技種目

種別	短距離走	ハードル	長距離走	跳躍種目	投てき種目
小学1,2年男子	50m				
小学1,2年女子	50m				
小学3年 男子	60m		800m		
小学3年 女子	60m		800m		
小学4~6年男子	100m	80mハードル	1500m	走幅跳	ソフトボール投
小学4~6年女子	100m	80mハードル	800m	走幅跳	ソフトボール投

## 8. 参加資格

魚沼地域体育協会協議会の構成市町内の児童

※出場単位はスポーツ団体(スポーツ少年団等)、小学校とする。

## 9. 参加料

1人 400円 (アスリートビブス代含む) ※複数種目出場可(ただし、2種目までとする)

## 10. 競技規定

①競技は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項により行う。

②競技者は、アスリートビブス(従来のナンバーカード)を胸と背に着けて競技すること。アスリートビブスは主催者で用意し、大会当日受付にて渡す。また、腰ナンバー標識については、短距離は各校で用意すること。(事前にアスリートランキングで所属選手のレーンナンバーを確認すること。) なお、長距離については主催者側で用意する。

③スパイクは全天候型競技場用平行ピンとし、ピンの長さは7mm以下とする。但し、4年生以上が使用可。

④競技用具は競技場備え付けの物を使用する。ソフトボール投のボールは1号球とする。

⑤80mハードルについては、スタートから第1ハードルまで12mとし、インターバルは7mとする。台数は8台で、最終ハードルからフィニッシュラインまでは19mとする。高さは全国大会用の70cmとする。

## 11. 大会日程

7:45 受付開始

7:55 監督・代表者会議

8:05 役員打合せ

8:20 **開始式(自校テントで行う)**

9:00 競技開始

13:00 競技終了(予定) **(閉会式は行わない)**

## 12. 表彰

各種目とも3位までメダルと賞状を授与する。参加賞あり。

## 13. 申込方法

- ①クラブチームに所属していて、アスラン登録をしている選手は、アスリートランキングにログインし、申込手順に従って、選手登録、各種目へのエントリーを行うこと。
- ②①以外の選手は、「申込一覧表」(様式1)に必要な事項を記入の上、⑥申込先のアドレスに電子データ(エクセル)を添付してメール送信すること。
- ③①②とも申込時に役員協力者2名を記入すること。
- ④参加料については、締め切りまでに事務局へ持参するか、下記口座へ振込むこと。

振込先：第四銀行 小千谷支店 普通 1300842

うおぬまちいきたいいきょうかいきょうぎかい かんじちやう まつだ みつまさ  
「魚沼地域体育協会 協議会 幹事長 松田 光正」

⑤締め切り 令和2年8月11日(火)必着

⑥申込先 〒949-7413

魚沼市堀之内130(堀之内体育館内)

TEL: 025-794-6074 FAX: 025-794-5523

E-mail: y-bandai@uonumataikyo.com

## 14. その他

- ①大会当日の負傷について、主催者は応急処置のみ行う。その後の処置については、各チームで対応すること。
- ②招集は招集所で行い、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は競技開始30分前までに完了する。
- ③2種目を兼ねて出場している競技者で先行してフィールド種目に出場している競技者は、当該競技の審判員に申し出てトラック種目に移動し、それが終了したら直ちにフィールド種目の競技場所へ戻ること。
- ④各チームと競技役員にプログラムを1部ずつ配布する。

## 15. 新型コロナウイルスの感染予防対策について

(1) チーム代表者ならびに競技役員は、以下の情報を、主催者側に提出できる準備をしておくこと。

①氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)

②イベント当日の体温

③イベント前1週間における以下の事項の有無

ア 平熱を超える発熱

イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状

ウ だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)

エ 嗅覚や味覚の異常

オ 体が重く感じる、疲れやすい等

カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

※ 参加者は、各校で行っている検温票を確実につけておくこと。

※ 役員(保護者含む)は、指定の体調管理チェック表を1週間前から記入し、当日提出する。

また、大会終了後2週間は健康チェック・検温を行うこと。

※ 各チームは、選手・顧問・競技役員協力者の名前・連絡先・当日の体温の記載された一覧表を受付時に必ず提出すること。書式は問わない。

(2) マスクおよびフェイスシールドの着用について

①参加者ならびに競技役員は、必ずマスクを準備すること。

②ウォーミングアップ中や競技中は、マスクを着用しなくてもよい。※

(※) マスク(特に外気を取り込みにくいN95などのマスク)を着用して運動やスポーツを行った場合、十分

な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性がある。熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなる。  
また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理しないこと。

- ③招集所では、できるだけマスクを着用すること（※の理由から、競技直前に体を動かしたり、息苦しさを感  
じたりする場合にはマスクを外すこと）。
- ④自校テント内、用具の準備片付け、参加の受付、着替え、表彰式等の運動を行っていない間には、マ  
スクを着用すること。
- ⑤競技役員は、原則マスクを着用すること。競技者係など声を発する場面が多い役員はマスクの代わりにフェ  
イスシールドを着用してもよい。

### (3) 手洗い・トイレについて

- ①こまめに手洗いを行うこと。
- ②招集前とレース後は必ず手を洗うこと。
- ③持参した自分のハンカチや布タオルで、手を拭くこと。
- ④選手はスタンド両サイドと芝生スタンドのトイレを使用すること。競技役員・保護者はスタンド内のトイレ  
を使用すること。

### (4) ウォーミングアップについて

- ①集団（3人以上）でのウォーミングアップは行わないこと。
- ②他選手と1m以上間隔をとって行うこと。
- ③ランニングをする際は、前後の間隔を十分に空けて行うこと。
- ④競技場内のみ可とする。外周道路は使用しない。

### (5) 招集所やスタート前について

- ①招集所では、役員の指示に従って他選手との距離を1m以上とること。
- ②不必要な会話は控えること。
- ③マスクについては、(2)を参照すること。
- ④レース前・試技前に、待機テントに設置してあるアルコール消毒液で手を消毒すること。

### (6) 保護者の観戦や応援について

- ①保護者が正面スタンドを利用する場合は、入場ゲートにて氏名・年齢・住所・連絡先・当日の体温などを記  
入した、観戦確認票を提出すること。
- ②用のない限り、選手のテントには立ち入らないこと。
- ③集団での応援はしない。
- ④他応援者との距離をできるだけ確保すること。
- ④周囲に人がいる場合は、マスクを着用して観戦・応援すること。

### (7) 更衣室について

- ①更衣室の利用は、4人以下で使用すること。
- ②必ずマスクを着用して利用すること。

### (8) 飲食について

- ①回し飲みや他選手の飲み残し（食べ残し）をもらうなどの行為はしないこと。
- ②普段よりも個人、各チームで氷やドリンクを多めに用意すること。

### (9) その他

- ①トイレ内（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）と手洗い場（蛇口やレバー）については主催者側が、1時間  
に1回消毒を行う。
- ②他校のテントに決して行かないこと。
- ③ゴミは各自で必ず持ち帰ること。